

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地	
総合技術工学院		昭和61年10月1日		上村 俊一		〒870-0037 大分市東春日町51番3 (電話) 097-537-2471	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地	
学校法人善広学園		昭和61年9月12日		田野上 泰司		〒870-0037 大分市東春日町51番3 (電話) 097-537-2471	
目的	本学院の教育目標に掲げる“専門的最高の知識・技術を身につけること”を実現するため、IT業界の実践現場を経験することにより、その最新技術を学ぶとともに、社会人としてのマナーを身につけることを目的とする。						
分野	課程名		学科名		専門士		高度専門士
工業	工業専門課程		モバイルシステムクリエイト学科		平成6年文部科学省告示第84号		---
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2550	1248	588	1250	0	0
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		30人		4人	2人	6人	
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 筆記試験及び課題提出		
長期休み	■学年始:4月1日～4月10日 ■夏季:7月20日～8月31日 ■冬季:12月20日～1月7日 ■学年末:3月20日～3月31日			卒業・進級条件	授業日数出席率80%以上 取得単位数93単位以上		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 保護者を交えた三者面談、スクールカウンセラーとの面談など			課外活動	■課外活動の種類 学校近隣の清掃作業 別大マラソンボランティア ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 IT企業、IT業界 ■就職率※1: 100% ■卒業者に占める就職者の割合※2: 100% ■その他 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)			主な資格・検定等	情報処理技術者試験 ・ComMaster 等		
中途退学の現状	■中途退学者 0名 平成28年4月1日 在学者 17名(平成28年4月1日 入学者を含む) 平成29年3月31日 在学者 17名(平成29年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止のための取組 カウンセラーを配置し、早期の面談対応を実施することで、心の安定を推進している。また、保護者と担任の連携を積極的に行い、学生に対する情報の共有を行うよう努めている。						
ホームページ	(URL)http://www.ivy.ac.jp						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本学院は開校以来、4,562名もの卒業生を数え、県内外の優良企業へ優秀な人材を輩出してきている。コンピュータをベースとして、情報処理、ネットワーク、ビジネス、CAD、デザイン等各分野のスペシャリストを養成し、企業との厚い信頼関係を築いてきた。

「職業実践専門課程」の認定学科である「モバイルシステムクリエイト学科」では、企業と連携した学院内外における実習授業を通して、実践教育の強化を図っている。

今後も、IT業界における情報サービス企業・公益団体及び大学等との連携をさらに強くし、「教育課程編成委員会」では各委員の意見を十分に生かしながら、産業界の動向を踏まえてカリキュラムの改善を図っていく。

さらに、企業ニーズ把握のため県内外の就職先企業にもアンケートを実施し、それを今後のカリキュラム編成に反映させていくことにも取り組む。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

名 前	所 属
上村 俊一	総合技術工学院 学院長
若林 茂典	総合技術工学院 教務部長
凍田 和美	公益財団法人 ハイパーネットワーク社会研究所 理事
大城 英裕	国立大学法人 大分大学工学部 助教
江藤 稔明	株式会社 ザイナス 代表取締役社長
佐田 孝博	株式会社 アーネット 代表取締役社長
河野 明彦	総合技術工学院 副学院長
香月 貴志	総合技術工学院 情報系学科長

(開催日時)

第1回 平成28年11月28日 16:00~17:20

第2回 平成29年 2月21日 16:00~17:20

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

「モバイルシステムクリエイト学科」における企業連携の主な目的は次の2項目とする。

①授業で学んだIT知識・技術を企業の実務経験を通じてより深く学ぶ。

②企業での実習を通じて職場における人間関係の重要性を理解する。

上記2項目を実現するため、連携企業とのインターンシップを実施し、高度情報処理技術者としての資質を育成することを基本方針とする。

科目名	科目概要	連携企業等
Androidアプリ開発	AndroidStudioを使用してJavaでアプリ開発を 実践する(実習中心)。	イジゲン株式会社
キャリア教育	企業の仕組みや業務の流れ等を学び、「就職 をする」ために必要な心構えを学習する	公益財団法人 ハイパーネット トワーク社会研究所
卒業研究	3年間の集大成として、3～5名でグループを 作り、自分たちで発案、設計したシステムを開 発し成果を発表する	株式会社 ザイナス

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

自分の担当科目に関わらず、現在の業界最新動向に注目し、学術機関との共同研究、あるいは各種研修会・セミナー等への参加を積極的に行わせる。また、学生指導・授業方法・シラバス作成方法等についても、外部学術機関より講師を招聘し学内にて定期的に研修を実施している。これらの研修については、目標管理における自己啓発目標として各自が年度ごとに設定し、成果の評価を行っている。

このように、教員のスキルアップを目的として本学院では定められた研修規程にもと、各教員が積極的に研修に参加していくことを基本方針とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年4月1日現在

名 前		所 属
顧問	上村 俊一	総合技術工学院 学院長
幹事	西山 拓美	総合技術工学院 総務部長
業界団体委員	凍田 和美	公益財団法人 ハイパーネットワーク社会研究所 理事
学術機関委員	大城 英裕	国立大学法人 大分大学工学部 助教
企業委員	江藤 稔明	株式会社 ザイナス 代表取締役社長
企業委員	佐田 孝博	株式会社 アーネット 代表取締役社長
事務局	河野 明彦	総合技術工学院 副学院長
卒業生委員	加藤 達彦	総合技術工学院 卒業生

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページ

URL:<http://www.ivy.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ

URL:<http://www.ivy.ac.jp>